

(一財)大阪科学技術センター地域開発委員会主催

まちづくり公開シンポジウム 2025年大阪・関西万博で 何をレガシーとして残すのか

万博の興奮を未来へつなぐ。

まちづくりのキーパーソンが、ポスト万博の

大阪のベイエリア再生と都市のあり姿を語る。

参加費
無料!

2025年

8月8日 金

15:00 ~17:45

大阪科学技術センタービル8階 大ホール
(大阪市西区靱本町1-8-4)

大阪科学技術センター地域開発委員会 大阪都市再生部会では、本年3月に2025年万博のレガシーとして進めるべきまちづくりの方向性を提言に取りまとめました。本提言は、2025年大阪・関西万博を契機とした、ポスト万博の大阪・関西の都市空間戦略を、「大阪」と「関西」のそれぞれの階層で研究したものです。「大阪」については「キタやミナミの都心」と「今後様々なまちづくりが展開されるベイエリア」とを結ぶ東西軸に着目し、アジア・世界を牽引する大阪・関西の将来を見据え「新しい都心拠点・インナーベイエリア*」の創成を提唱しています。

本シンポジウムでは、有識者の皆様をお迎えし、まちづくりでの万博レガシーについて議論を深め、大阪のベイエリアの再生やまちづくりの未来を共に考えていきたいと存じます。

ご登壇者



プログラム

14:30 開場・受付

15:00 主催者挨拶

新田 浩二郎氏 (株)大林組 常務執行役員 / 地域開発委員会 委員長

15:10 基調講演①「EXPO (BIE登録博) 開催と地域開発 過去/未来」

加藤 晃規氏 関西学院大学 名誉教授 / 大阪都市再生部会 部会長

15:40 基調講演②「これからの大阪のまちづくりについて」 (仮)

山田 裕文氏 大阪市計画調整局長

16:15 パネルディスカッション

「2025年大阪・関西万博で何をレガシーとして残すのか」

モデレータ

嘉名 光市氏 大阪公立大学 大学院工学研究科 都市系専攻 教授

パネラー

高橋 豊典氏 オリックス(株) 執行役 グループ関西代表

門脇 あつ子氏 大阪ガス(株) 執行役員 京都地区統括支配人

村井 剛氏 (独)都市再生機構 西日本支社副支社長

岸田 文夫氏 (株)竹中工務店 執行役員 / 地域開発委員会 副委員長

17:45 閉会

17:50 交流会 (立食)

*今回定義する「インナーベイエリア」とは、長らく臨海工業地域として発展を遂げてきた大正区、住之江区、港区、此花区、西区周辺エリアを指します。これらの地区は、造船業の倉庫や事業用地といった大規模な施設、さらには区画整理によって整備された幅員の広い道路空間など、臨海工業地域ならではの豊かな空間資源が特徴となっています。



■参加費：無料 ■交流会：2000円

■対象：どなたでも

■定員：会場 150名、オンライン 100名

■申込方法：

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください

<https://toshisaisei.ostec.or.jp/8-8>

■お問い合わせ先

(一財)大阪科学技術センター技術振興部 大原・松好

TEL 06-6443-5320

大阪都市再生部会

検索

主催／大阪科学技術センター地域開発委員会
後援／(公社)日本都市計画学会関西支部、
(一社)日本建築学会近畿支部

会場



- Osaka Metro四つ橋線本町駅下車28号出口 北へ徒歩約3分
- Osaka Metro四つ橋線肥後橋駅下車7号出口 南へ徒歩約5分
- Osaka Metro御堂筋線本町駅下車2号出口 西へ徒歩約7分
- 京阪中之島線渡辺橋駅下車5号出口 南へ徒歩約11分